

令和4年度事業報告

【総務】

持続可能な法人に向けてミドルマネージャーを充足させるため、管理職で構成するワーキングチーム（イノベーション・人財定着・ビルトアップ）、法人横断委員会（広報・研修）と連携し、業務効率化による負担の軽減や、やりがいと安心感向上させることによる人財定着に注力します。

《成果》

- ①納得性の高い昇進昇格のロールモデルを実現させるため、昇格・昇進制度基準及び職務基準書を見直しました。
- ②多様で柔軟な働き方を選択し、安心して働き続けられるよう、スタッフからの希望アンケートを基に（勤務地・職務等）限定職員制度の拡充について検討しました。
- ③働きやすさやワークライフバランスについてアンケートを実施し、結果をスタッフへフィードバックすることで働きやすさやワークライフバランスの推進状況をPRしました。

【清流園】

利用者が安心とやりがいをもって活動していただけるよう、サービスや専門知識について振り返る機会を設けながら人財育成に力を注ぎます。また地域共生社会の実現に向け、生活全体の状況を踏まえ必要なサポートを提供できるよう、関係者と密に連絡を取りながらすすめます。

«成 果»

- ①仕事のやりがいや不安を話すことでスタッフ満足度を高めるよう、管理職・指導職が中堅スタッフと話し合う場を年6回設けました。
- ②エリア制の仕組みを構築するために、セントラル武庫と柔軟な体制が取り組めるように情報交換を行いスタッフの浸透度を深めました。
- ③障害理解の促進のために、見学やボランティアに興味や関心をもって来ていただけるように事業所の取り組みの発信を行いました。

«外部研修受講一覧»

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会	5月17日	福祉従事者新任職員研修 (障害者福祉)	W e b	2名
2	兵庫県社会福祉協議会	6月1日	福祉従事者新任職員研修 (障害者福祉)	兵庫県福祉人材センター	2名
3	(福) 来島会	8月2日	スーパーバイズを活用した支援の実践報告会	W e b	1名
4	兵庫県社会福祉協議会	8月20日 11月5日	リーダーシップ研修	兵庫県福祉人材センター	1名
5	PWS支援者 ネットワーク事務局	10月23日	プラダーウィリー症候群支援者 ネットワーク第45回定例会	W e b	2名

【塚口福成園】

塚口福成園だけで完結することのない地域共生社会の実現を目指します。各関係機関とも連携を取りながら、利用者の安全確保とニーズに合う多機能型（生活介護事業・就労継続支援B型事業）のサービス提供を実施します。

«成 果»

- ①正しく恐れながら感染防止に努め、スタッフのやりがい向上に向けて人財育成をしました。
- ②事業所が地域の社会資源の一つとして望まれるように場所提供的や見学受入・地域清掃等の協力をを行い、地域との連携強化を図りました。
- ③事業所の経営安定に向けて、利用者のニーズに合うサービス調整を行なながら稼働率98%以上にしました。

«外部研修受講一覧»

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会	5月16日	チームアプローチ実践研修	兵庫県福祉人材研修センター	2名
2	兵庫県社会福祉協議会	5月17日	福祉従事者新任職員研修 (障害者福祉)	W e b	1名
3	兵庫県社会福祉協議会	6月1日	福祉従事者新任職員研修 (障害者福祉)	兵庫県福祉人材研修センター	2名
4	(福) 来島会	7月27日	スーパーバイズを活用した支援の実践報告会	W e b	1名
5	兵庫県社会福祉法人経営者協議会・青年協議会	9月22日～ 2月24日	社会福祉法人経営計画策定リーダー養成ゼミナール	神戸市内	1名
6	全国社会福祉法人経営者協議会	10月18日 11月7日	社会福祉法人マネジメント講座	W e b	1名
7	(独) 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	10月26日	障害者の福祉的就労と日中活動サービスの支援のあり方について	W e b	3名
8	兵庫県社会福祉協議会	11月29日	福祉サービスに関する苦情解決セミナー	兵庫県福祉センター	1名
9	近畿地区知的障害者福祉協会 京都知的障害者福祉施設協議会	12月20日	第43回近畿地区知的障害関係施設長等会議	ホテルグランヴィア京都	1名
10	兵庫県知的障害者施設協会	1月20日	農福連携推進会議・研修	アスピア明石北館	2名
11	兵庫県知的障害者施設協会	1月22日	アセスメント研修会	W e b	1名
12	(福) 一羊会	1月30日 2月6日	自閉スペクトラム症 ワークショップ	W e b	2名
13	兵庫セルフセンター	2月14日	全国の好事例から学ぶ工賃向上	ウィズあかし	1名
14	兵庫県知的障害者施設協会	3月6日	強度行動障害スーパーバイザー養成事業における実践報告会	兵庫県福祉センター	1名

【杭瀬福成園】

障害特性に応じた専門的な支援を向上させ、スタッフ一人ひとりが利用者への感謝を込めてサービスを提供します。そのために業務の見直しと効率化を図り、コロナ禍における感染防止策の徹底による安心感等、働きがいのある事業所を目指します。

«成 果»

- ①業務整理検討会を行い業務効率化と仕事の質を高める視点で進め、スタッフの負担軽減による疲労感軽減につなげました。
- ②新型コロナ感染防止の取り組みを4月、支援の工夫等を12月にホームページ等で発信し、コロナ禍での安心感をPRしました。
- ③「強度行動障害研修」を通して、知識と適切な支援方法を学び、2か月に一度事業所内での報告並びに研修会報告をし、実践を通して利用者の安心につなげました。

«外部研修受講一覧»

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	(株) Lean on Me	5月12日	Special Learning Summit 教育についての再認識とICTの活用	Web	1名
2	兵庫県社会福祉協議会	6月1日	福祉従事者新任職員研修 (障害者福祉)	兵庫県福祉人材研修センター	2名
3	Life hospitality management service	6月11日	トランスジェンダーの性別違和 職場のカミングアウト	大阪市立住吉区民センター	1名
4	兵庫県社会福祉事業団	6月14日	利用者と介護者の体を守る 介護技術研修	総合リハビリテーションセンター	1名
5	兵庫県社会福祉協議会	6月24日	はじめて福祉の仕事に就く人のための研修(基礎編)	Web	1名
6	兵庫県社会福祉協議会	7月15日	OJTリーダー養成研修 (基礎編)	兵庫県福祉人材研修センター	1名
7	尼崎商工会議所	8月19日	顧客の心をつかむ! ブランディングとは	尼崎商工会議所	1名
8	兵庫県社会福祉法人 経営者協議会・青年協議会	9月22日～ 2月24日	社会福祉法人経営計画策定リーダー養成セミナー	神戸市内	1名
9	兵庫県社会福祉協議会	9月30日～ 1月17日	障害福祉リーダーセミナー	兵庫県福祉人材研修センター	1名
10	全国社会福祉法人 経営者協議会	11月7日	社会福祉法人マネジメント講座	Web	1名
11	兵庫県知的障害者施設協会	1月22日	アセスメント研修会	Web	1名
12	兵庫県社会福祉協議会	2月17日～ 3月16日	相談面接技術研修 (実践編)	関西学院大学	2名

【あいあい】

スタッフ個々がおもてなしの心をベースにしながら「専門性」と「楽しさ」を追求した活動を提供することで、利用者が「来て良かった」と思えるサービスを提供します。また地域共生社会の実現に向け、相互理解が深められるように事業所の機能を活用します。

《成 果》

- ①業務の見直しや複数対応ができる仕組みを作ることによって、昨年度の超過勤務時間を維持できるようにしました。
- ②コロナ禍により関わりの減ってしまった地域とのつながりを、再度顔の見える関係が拡大・維持できるように機会を作り、相互理解の深化へとつなげました。
- ③活動の本質である「楽しめる活動」に向き合い、利用者の満足度向上に努めました。
またオリジナリティのある製品の検討や、PR方法の検討を行いました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会	6月1日	福祉従事者新任職員研修 (障害者福祉)	兵庫県福祉人材研修センター	1名
2	自閉症eサービス全国ネット	6月24日	強度行動障害支援における「中核的人材」とは何か?	Web	1名
3	兵庫県知的障害者施設協会	8月6日	障害のある方の権利擁護虐待防止 過去 現在 未来	Web	1名
4	兵庫県社会福祉協議会	10月5日	アンガーマネジメント研修	Web	1名
5	兵庫県社会福祉協議会	10月21日	はじめて福祉の仕事に就く人のための研修 (基礎編) Bコース	兵庫県福祉人材研修センター	1名
6	兵庫県知的障害者施設協会 播淡地区	11月7日	第1回兵庫県知的障害者施設協会 播淡地区職員研修	Web	1名
7	兵庫県社会福祉協議会	11月21日	はじめて福祉の仕事に就く人のための研修 (実践編) Bコース	兵庫県福祉人材研修センター	1名
8	(福) 一羊会	12月3日	意思決定支援って? 実践編	Web	1名
9	兵庫県知的障害者施設協会	1月10日	強度行動障害SV養成事業 プラッシュアップ研修	(福) 陽気会	1名
10	PWS支援者 ネットワーク事務局	2月12日	プラダーウィリー症候群支援者 ネットワーク第46回定例会	関西福祉科学大学	1名

【チャレンジ・コヤリバ】

利用者の自己実現が叶い、就労を通じて安心した地域生活を送れるように、就労支援や各障害特性に合わせた支援を目指します。プログラムの強化や知識の向上により、多くの障害のある方が利用したくなる事業所を目指します。また、障害のある方の働きや就労支援を知っていただける発信を行い認知向上につなげます。

《成 果》

- ①障害のある方の様々な働きや必要な就労支援を伝え、社会の中で活躍できること等認知向上を促進するため、様々な媒体を使い外部へ発信しました。
- ②外部研修等を活用し、プログラム強化を行い、就労支援や自立した生活を送れるようスキルや知識の獲得を目指しました。
- ③より良くサービスを活用してもらうために、障害のある方にとってより分かりやすいサービス内容を発信しました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	日本財団	7月2日	福祉と建築	Web	1名
2	日本財団	7月9日	オンライン交流イベント	Web	1名
3	全国社会就労センター協議会	7月22日	全国セルフ総合研究大会	Web	1名
4	日本セルフセンター	9月15日	食品コンプライアンスセミナー	Web	1名
5	兵庫県社会福祉法人経営者協議会・青年協議会	9月22日～2月24日	社会福祉法人経営計画策定リーダー養成ゼミナール	神戸市内	1名
6	日本財団	9月30日	就労支援フォーラムNIPPON	Web	2名
7	兵庫県社会福祉士会	12月12日	障害者虐待対応力向上研修A	Web	1名
8	日本財団	12月18日	就労支援フォーラムNIPPON	Web	1名
9	大阪生活訓練NET	1月28日	実践技術リモート研修	Web	2名
10	Conference of Employment First実行委員会	3月10日～3月11日	CEF2023	Web	1名
11	全国社会就労センター協議会	3月14日	全国社会就労センター長研修	Web	1名
12	全国社会福祉法人経営者協議会	3月28日	社会福祉法人経営者セミナー2022	Web	1名

【サポートセンターまつば】

利用者が歳を重ねても安心して利用していただけるように重度高齢利用者支援についての専門性を高めます。また、笑顔で安心した生活を提供できるように、学んできた各障害種別（自閉スペクトラム症、ダウン症、強度行動障害等）のスキルを用いて笑顔で安心できる環境を作ります。スタッフが利用者一人ひとりに親切丁寧なサービスを提供できるように人財育成を行います。

«成 果»

- ①障害福祉ならではの加齢にともなう重度化支援として、サービス内容、環境構成等の特色を活かした支援を行いました。
- ②利用者のニーズ・ニードを基に利用者に安心、満足していただけるサービスを提供できるスタッフを育成しました。
- ③事業を維持継続に向け、事業内容の見直しや関係機関等への営業活動を行い、利用契約者を増やすアプローチをしました。

«外部研修受講一覧»

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	自閉症eサービス全国ネット	5月7, 21日 6月4, 18日	自閉症eサービス全国ネット ベーシック講座	W e b	1名
2	兵庫県社会福祉協議会	6月24日	はじめて福祉の仕事に就く人のための研修（基礎編）	W e b	2名
3	自閉症eサービス全国ネット	7月10日	プラクティカル 初任者のための実技講習	大阪府社会福祉社会館	1名
4	兵庫県社会福祉協議会	7月22日 8月19日	思いを伝える、コミュニケーション基礎研修	兵庫県福祉人材研修センター	1名
5	兵庫県社会福祉協議会	7月25日 7月26日	相談面接技術研修（基礎編）	兵庫県福祉人材研修センター	1名
6	兵庫県社会福祉協議会	10月5日	アンガーマネジメント研修	W e b	1名
7	(福) いたみ杉の子	11月4日	実践報告	サポートセンターいたみ杉の子	1名
8	全国社会福祉法人 経営者協議会	12月2日 ~12月6日	社会福祉法人経営塾研修	ビジョンセンター田町	1名
9	兵庫県知的障害者施設協会	1月10日	強度行動障害SV養成事業 ブラッシュアップ研修	(福) 陽気会	1名
10	兵庫県知的障害者施設協会 (福) 阪神福祉事業団	2月4日	公開辞令発表会（重度・高齢知的 障がい者への支援について）	W e b	1名

【ぶちるば】

住み慣れた地域での安心できる暮らしが継続できるように、利用者本人の宿泊経験の増加や緊急時の利用、介護者のレスパイトを目的とした宿泊を提供します。日中事業所とは違った利用者の状況に対して支援を行い、スタッフ間で情報共有を行うことでより利用者の全体像の理解を深めます。

《成 果》

- ①利用者の安心や介護者のレスパイトの増加に向け、ニーズ調査や体制作りを行った上で日曜開所を開始しました。
- ②法人唯一の短期入所事業として、事業内容やスタッフの働き方、支援工夫等の広報を行いました。
- ③学んだ各障害種別（自閉スペクトラム症、ダウン症、強度行動障害、重度高齢化等）に対する支援を深め環境を整えました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	自閉症eサービス全国ネット	8月7日	QOL（生活の質）向上シリーズ① 楽しみをみつける	W e b	1名

【セントラル】

地域共生社会を実現するために、利用者が安心して暮らしていける地域環境への配慮を行い、それを支えていけるスタッフの専門性（中度・軽度利用者支援方法等）を向上させます。

《成 果》

- ①ホーム移転計画が難航し、採用計画の検討は進められなかつたが、今年度より武庫エリア体制がスタートし、下半期より正規スタッフのシフト作成時での超過勤務は20%削減ができました。
- ②セントラル武庫と合同会議、現場サイドでの情報共有、所長・主任・サービス管理責任者での打ち合わせを毎月実施することで、下半期よりエリア制の仕組みが構築されつつあり、将来的な事業体制やエリア制の方向性が見出されました。
- ③中度・軽度等の利用者へ日ごろの支援をする中で臨時スタッフの困りごとや知りたい知識について聞き取り研修等を行いました。タブレットを使い職場内研修を動画視聴してもらうことで、研修方法について9割の臨時スタッフより高評価がありました。タブレットを活用していくことで臨時スタッフへの研修参加率を上げることができました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会	7月15日	OJTリーダー養成研修 (基礎編)	兵庫県福祉人材研修センター	1名
2	特定非営利活動法人 自閉症eサービス全国ネット	11月5日	自己理解の大切さ ASDの方の暮らしやすさを目指して	大阪府社会福祉会館	1名
3	障害のある人と援助者でつくる 日本グループホーム学会	11月7日	第18回日本グループホーム学会 オンライン全国大会	Web	1名
4	兵庫県社会福祉協議会	3月3日	看護職と介護職の連携力強化	兵庫県福祉人材研修センター	1名

【セントラル武庫】

地域共生社会を実現するために、利用者が安心して暮らしていける地域環境への配慮を行い、それを支えていけるスタッフの専門性（自閉スペクトラム症や加齢にともなう重度化等）を向上させます。

《成 果》

- ①清流園と連携し人海戦術を使うことで、休日等の日中勤務体制を整えました。
- ②エリア制の仕組みを構築するために、セントラルとの情報共有の場を年10回設けました。
- ③自閉スペクトラム症や加齢にともなう重度利用者等への支援で必要な知識や支援方法を学び、まずは正規スタッフに研修等を行い、支援スキルを向上しました。

【尼崎市障害者就労・生活支援センターみのり】

尼崎市の委託事業として、就労を希望する方から相談を受け、就労準備、意欲喚起、評価、実習、職場定着等一貫した就労支援を行います。また市内の就労支援の中核事業所として、尼崎市内の就労支援をバックアップしつつ、企業と福祉をつなぐため、製品販売の機会や就労機会の創出等、様々な方面から障害のある方の働く・暮らす地域作りを目指します。

《成 果》

- ①障害のある方や企業への就労相談や福祉的就労の支援、チャレンジ雇用を支える支援、販路開拓事業、実習先への交通費助成や定着支援等、多岐に渡る事業を市内で唯一行っている事業所としてPRし、幅広い方からの活用を目指しました。
- ②主に就労支援の中核事業所として、学校や企業、障害福祉の支援機関や相談支援事業所、困窮者支援機関や地域のつながり等、障害福祉の枠に捉われず、あらゆる関係機関とのつながりを強化しました。
- ③限られた人員で多岐に渡る事業を展開するため、人財育成や負担軽減等、スタッフがやりがいを感じられる風土を作りました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	(福) 一羊会	6月9日	発達障害のある人の精神科医療との関わり	Web	1名
2	兵庫障害者就業センター	7月15,19 26日	就業支援基礎研修 ラーニングセッション	神戸市産業振興センター	1名
3	大阪障害者職業センター	11月15日	職業支援実践研修	新大阪丸ビル別館	1名
4	日本財団	12月17日 12月18日	就労支援フォーラムNIPPON 「再会」この3年間を無駄にしなかった者たち	東京ビックサイト	2名
5	厚生労働省	2月2日	労働契約等解説セミナー	Web	1名
6	厚生労働省	2月9日	労働契約等解説セミナー	兵庫県民会館	1名
7	全国就業支援ネットワーク	2月10日 2月11日	第9回障害者就業・生活支援事業をより深く考えるための全国フォーラム	Web	1名
8	厚生労働省	3月7日	労働契約等解説セミナー	エル・おおさか	1名
9	Conference of Employment First実行委員会	3月10日～ 3月11日	CEF2023	Web	1名

【障害者就労支援事業】

尼崎市社会福祉協議会との社会福祉法人同士のコラボレーションした公益事業という内容を活かして、地域福祉に関わる方々へも広く周知を行い、障害のある方や生きづらさを抱える方の自立の一助となるようにします。

«成 果»

- ①社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会とのコラボレーション事業として、障害者支援や困窮者支援等幅広く活用できる事業であること、関係機関等広く事業の周知を行いました。
- ②様々な困難のある方々に利用していただけるように、各機関と協力して受け入れ態勢を整えました。
- ③コロナ禍で職場実習の機会が少なくなっている特別支援学校の生徒に、活用していくだけの受け入れ態勢は不十分でした。

【相談支援センターことのは】

自立した生活の実現に向けて、利用者の意思や最善の利益を尊重し、常に利用者の立場に立って支援します。また、今後の社会資源の創出のため、関係機関と連携を行い、地域作りを含めた相談支援を実践します。それらを実現すべく、持続可能なサービス提供と質の向上のため、人財育成と研鑽に力を注ぎ、変化に対応できる相談支援体制を構築します。

《成 果》

- ①常に学びの姿勢を持ち、知り得た知識の共有と研鑽を行うことで、相談支援専門員としての専門的なスキルアップをしました。
- ②あらゆる関係機関と連携を図り、利用者の利益のために社会資源の把握を行います。また、高齢分野との連携も深め、移行期の備えを検討しました。
- ③安定した経営を持続しつつ、様々なケースにも対応できる相談支援体制を構築しました。

《外部研修受講一覧》

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会	7月29日 11月1日	OJTリーダー養成研修 (実践編)	兵庫県福祉人材研修センター	1名
2	兵庫県社会福祉士会	8月1日 ~8月21日	医療的ケア児等支援者養成研修	Web	1名
3	尼崎市手をつなぐ育成会	10月25日	自閉症・知的障害児者 スキルアップメソッド	中央北生涯学習プラザ	1名
4	日本財団	12月17日 12月18日	就労支援フォーラムNIPPON 「再会」この3年間を無駄にしなかった者たち	東京ビックサイト	1名
5	伊丹市立男女共同参画センターここいろ	2月10日	女性の力を、会社の資源に。	兵庫県福祉人材センター	1名
6	尼崎市保健所疾病対策課	2月18日	自殺対策講演会「良い睡眠」	中央北生涯学習プラザ	1名

【リレくらしサポートセンター】

尼崎市内の障害のある方々が安心して生活できるように、グループホームの空床情報や生活介護事業の基礎情報の公表や、ネットワーク会議を開催することでグループホーム、短期入所、生活介護事業の活性化を図ります。緊急時でも市内の関係機関で受け入れられる環境作りとコーディネートを行います。

«成 果»

- ①事業の理解が深まるように、ホームページやインスタグラム等を用いて法人内外へ事業内容の広報をしました。
- ②市内のグループホームや短期入所、生活介護事業所に対して有益な情報共有や研修を提供できるネットワーク会議を企画・運営しました。また会議後はアンケートを行い、今後の会議内容や参加率の分析につなげる準備を行いました。
- ③ネットワーク会議や訪問を通じて関係機関との連携を深め、得た情報は行政と情報共有や提言を行い、障害のある方が安心して生活できるまちづくりにつなげました。

«外部研修受講一覧»

No	主催者	期間	研修内容	場所	参加
1	兵庫県社会福祉協議会	5月16日	チームアプローチ実践研修 いきいきとしたチーム作りに役立つファシリテーションを学ぼう	兵庫県福祉人材研修センター	1名
2	尼崎市立 身体障害者センター	2月24日	障害者虐待防止及び身体拘束等の適正化について	中央北生涯学習プラザ	1名